

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 水難救助資器材等購入事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	2	消防力の強化・高度化
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化
事務事業番号	008	事務事業コード 23221008 事業開始年度 平成 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	水難救助資器材等購入事業
------	------	------------	--------------

部 名	消防署	グループ名	警備 G
-----	-----	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 消防力の強化・高度化
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 経年劣化の著しい水難救助資器材の更新整備を行うとともに、新たに水難救助用ボートを購入し、水難救助活動の強化を図る。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 水難事故発生時に、水難救助隊員の安全を確保する。また多種多様な水難事案に対応するため、水難救助用ボートの導入により、機動力を増強し水難救助活動範囲を広げ、迅速かつ安全な水難救助活動を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 消防法施行令（救助隊の編成装備及び配置の基準 労働安全衛生法 高気圧作業安全衛生法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	水難救助隊員用ドライスーツ	着	目標値	0	2	2	0	2
			実績値	0	/	/	/	/
	水難救助資器材（コンソールゲージ、レギュレーター、BCジャケット、ボート他）	式	目標値	0	2	2	1	2
			実績値	0	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円		900	900	1,310	900	3,110
合 計				0	900	900	1,310	900	3,110
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	859			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		0	859			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 現有の資器材を維持しなければ各種水難事案に対応できないため、実施していく事が妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各種水難事案に対応しており、水難器材が整備されている事から事故、公務災害等が起きていない。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 未整備の水難資器材を整備することにより、より多種多様な水難事案に対応できる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ 年々出動件数が増加傾向にあり、資器材の消耗が激しいため、コスト削減は難しい。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	あらゆる条件（極寒、荒波、強風、急流等）のもと、人命救助をおこなわなければならない。そのため資器材の管理は重要であり、特に劣化の著しいもの、あるいは対応年数に応じ更新することとする。またボートの整備により多種多様な水難事案に対応することができるため事業を進めることとする。
------------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）